

足立区議会議長 古性 重則 様

足立区議会議員 31 番 浅子 けい子 印

文 書 質 問 書

会議規則第60条の2第2項の規定に基づき、次のとおり文書質問書を提出します。

記

テ ー マ 及 び 質 問 項 目

1 北千住駅東口再開発事業について

足立区では、現在、北千住駅東口南北でそれぞれ住友不動産（南街区）、三井不動産（北街区）が中心に、再開発事業を進めようとしている。一方、足立区は、2008年に策定された『北千住駅東口周辺地区まちづくり構想』を「地区の環境変化と社会情勢の変化」を理由に昨年度、見直しを実施した。

2008年に策定された『まちづくり構想』の際には、何回も説明会が開かれ、多くの住民が納得のなかで策定されたと理解している。しかし、今回の改定は、突然区から「2つの再開発準備組合が設立されるなど地域の変化がみられる（平成30年第3回定例会での私の一般質問への答弁）」と言い、交通量調査、アンケート調査などが実施され、その後2回「まちづくり構想改定案」の説明会を実施し、そこでは沢山の意見が出された。またパブリックコメントで出された意見等も含め、どう改正案に活かされたのか新たな時間を取っての説明もないまま進められてきた。

1. 私は議会で、街にとっては重要なことなので「まちづくりニュース」等を発行して周知を図るよう何回も求めてきた。しかし2017年11月、初めて『まちづくり構想』の見直しを行うことが議会に報告されてから今に至るまでの期間、関係住民にほとんど情報が入っていない。改めて周知を図るよう求めるがどうか。
2. 改めて『まちづくり構想』が見直しされた経緯を改めて明らかにされたい。
3. 今年7月には、第5回目となる非公開の再開発事業等アドバイザリー会議が開かれた。今回は「北千住駅東口北街区」についての区の考え方と再開発準備組合からの計画が主な議題であり、情報公開により取り寄せた会議録には学識経験者からかなり辛辣な意見が述べられていた。

①複数の学識経験者から、十数年前に都市計画決定した現状の街並み誘導型の地区計画を大きく変更する必要があるのか。「変更ありきでやっておられる」との意見があったが、私も同感だ。区の見解を伺う。また、今の地区計画の範囲で区が考える新たな『まちづくり構想』ができるかどうか、検討は行ったのか。一度都市計画決定した地区計画は、住民の総意でつくられたものであり簡単に変えるべきではないと思うがどうか。

②共通して出されている意見が、建物が高すぎるということ。容積率は共用部分も含めると900%で、区は再開発事業者に、何を根拠にこのような規制緩和を行おうと

31 番 浅子 けい子

テーマ及び質問項目

しているのか。また再開発事業には税金が使われる。千住ザ・タワーには 40 億円の税金が投入され大問題となった。現在の想定では、税金投入はいくら投入すると考えているのか。

- ③アドバイザー会議の実施は、北街区に対しては全体で 3 回のみの開催が初めから決められているが、スケジュール先にありきではなく、十分な意見とそれに対する検討が必要と思うがどうか。また、駅前再開発は、まち全体に大きな影響を与える。時間をかけて、地権者のみにとどまらず地域多数の合意を得て進めるべきと思うがどうか。

2 旧千寿第五小学校跡地活用について

足立区は今回、旧千寿第五小学校の跡地活用について、三幸学園を選定し、不登校特例校（中学校）と通信制高等学校、さらに児童発達支援センターの事業を 54 年間の定期借地により実施することを明らかにし、9 月 30 日と 10 月 2 日に「跡地利用・解体工事 説明会」が開催された。当日「防災を第一に考えて設計」と言う三幸学園の挨拶や避難所設置という説明には、この地域の大きな課題解決の道が開かれたと感じた。

一昨年の台風 19 号の際には、足立小学校（足立 3 丁目）には区内で一番多い 1,287 人という避難者が殺到した。この学校は、平成 25 年に千寿第五小学校と五反野小学校が統廃合されて作られた学校で、以前は第一次避難所が 2 か所（千寿第五小学校と五反野小学校、收容可能人数は、各 1,430 人と 1,558 人、計 2,988 人）あった。それを、統廃合によって避難所 1 か所をなくしてしまったのだから、足立小学校の避難所に 1,200 人以上の人が殺到し、体育館では間に合わない状況が生じたのも当然な結果だ。

1. そもそも旧千寿第五小学校の保護者や地域の方たちは、区の強引な統廃合により、大切な地域の防災の拠点・避難所がなくなってしまうと主張し、反対していた。それに対して区は、「都立足立高校がある」などと言い、住民の不安に真剣に応える姿勢がなかった。統廃合により避難所をなくしてしまったまま、なくした避難所を新たに確保する具体的な対策をとってこなかった区の責任は重大だ。どこに避難するかは自己責任。地域の高齢者、障害者等からは「足立小には遠くて行けない。どこにも逃げられない」という声が寄せられていた。地域住民の声に耳を傾けず、後先考えずに統廃合ありきで進め、避難所をなくし、地域に不安を作ってしまったことにまずは反省、謝罪をすべきではないか。
2. 今回、区は、旧千寿第五小学校の事業選定にあたり第一に「避難所機能を有する文教施設」として避難所を位置付けた。足立の町に足立小学校だけでは避難所は足りず、避難所の増設が必要であることを認めた結果だ。そうであるなら、三幸学園が作る 7 階建ての建物の 7 階につくる避難所は第一次避難所にするを事業選定時に掲げるべきだったと思う。なぜ、選定時に「第一次」ではなく、一般的な「避難所」としたのか。

31番 浅子 けい子

テーマ及び質問項目

3. 町会・自治会等からは「第一次避難所を」という声が寄せられているというが、区は千寿第五小学校から第一次避難所をなくしてしまった責任を果たすため、区として事業者に強く要請すべきと思うがどうか。
4. さらに、定期借地は54年間となっている。どんなに他の施策で公有地が必要になっても、貸してしまえば他の活用はできない。そうであるなら、千寿第五小学校当時に地域住民が地域のコミュニティの拠点として学校を活用していたように、自治会・町会・住民等の集まりなどに校舎や校庭を開放し、貸し出しも可能になるよう具体化すべきと思うがどうか。
5. 平成20年度に策定された学校の「適正規模・適正配置」計画で実施された統廃合により、学校が廃止された公有地は、先の計画もなく放置され、まだまだ活用できた校舎も使用されないまま現在に至り、大切な区の財産をあえて失う結果となった。集会場など公共施設が少ないこの地域から「次の計画が決まらないうちだけでも集会などに使わせてくれていたら、校舎もこんなにボロボロにならなくて済んだのに」等の声も寄せられていた。改めて区民の財産活用については、真摯に地域の声に耳を傾け、真の「協働・協創」に心がけるべきと思うがどうか。